

水道事業ローリングシート(個別事業点検表)

目指すべき方向性	強靱	基本政策	3 災害対策の推進	施策	3-1 震災対策の強化	事業	3-1-3 災害用資機材の整備	担当課	上下水道総務課	
総事業費		157,049千円								
計画額	令和元年度(予算額)	令和2年度(予算額)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	32,362千円	30,647千円	30,575千円	9,017千円	9,017千円	9,190千円	9,017千円	9,017千円	9,190千円	9,017千円
取組内容、数値目標及びスケジュール(単年度)	①事業3-1-2「応急給水・復旧体制の整備」と合わせ、より効果的な災害用資機材等の研究を行い、局内での情報共有を行う。	・事業3-1-2「応急給水・復旧体制の整備」と合わせ、より効果的な災害用資機材等の研究を行い、局内での情報共有を行います。	・事業3-1-2「応急給水・復旧体制の整備」と合わせ、より効果的な災害用資機材等の研究を行い、局内での情報共有を行います。	・事業3-1-2「応急給水・復旧体制の整備」と合わせ、より効果的な災害用資機材等の研究を行い、局内での情報共有を行います。						
	②各浄配水場の災害用資機材を点検し、災害用資機材管理台帳の更新を行う。また、発電機の保守点検を行う。	・各浄配水場の災害用資機材を点検し、災害用資機材管理台帳の更新を行います。また、発電機の保守点検を行います。	・各浄配水場の災害用資機材を点検し、災害用資機材管理台帳の更新を行います。また、発電機の保守点検を行います。	・各浄配水場の災害用資機材を点検し、災害用資機材管理台帳の更新を行います。また、発電機の保守点検を行います。						
	③応急給水体制の複層化に向けた検討を行う。	・応急給水体制の複層化に向けた検討を行います。	・指定給水所への配水、備蓄ボトル水を補うものとして、家庭でのボトル水備蓄の啓発を行います。	・指定給水所への配水、備蓄ボトル水を補うものとして、家庭でのボトル水備蓄の啓発を行います。						
	④給水袋3,000枚の備蓄を行う。	・給水袋4,000枚の備蓄を行います。	・給水袋3,000枚の備蓄を行います。	・給水袋3,000枚の備蓄を行います。						
	⑤ボトル水を製造し、各指定給水所等に配備を行う。	・ボトル水を製造し、各指定給水所等に配備を行います。	・給水袋3,000枚の備蓄を行います。	・ボトル水を製造し、各指定給水所等に配備を行います。						
総事業費		61,726千円								
決算額		29,504千円								
達成状況	①応急給水訓練を実施し、災害用資機材の運用を確認した。	・応急給水訓練を実施し、災害用資機材の運用を確認しました。								
	②災害用資機材管理台帳を更新した。	・ボトル水を製造し、指定給水所への配備を実施しました。ボトル水の製造・配備計画を更新しました。								
	③応急給水体制の複層化について情報収集を行った。応急給水訓練を実施し、関係団体と連携を強化した。	・給水袋4,000枚の備蓄を行いました。								
	④給水袋2,000枚の備蓄を行った。									
	⑤ボトル水を製造し、指定給水所への配備を行った。また、環境に配慮し、ボトル水をアルミボトル缶に仕様変更した。									